

組織目標評価報告書（令和7年度）

部局名：教育推進機構		部局長名：菅 誠治
目 標		目標に対する達成状況（成果）及び新たに生じた課題等
①教育領域	関連する 中期計画の番号	教育領域における目標の達成状況及び新たに生じた課題等
②研究領域	関連する 中期計画の番号	研究領域における目標の達成状況及び新たに生じた課題等
③社会貢献（診療を含む）領域	関連する 中期計画の番号	社会貢献（診療を含む）領域における目標の達成状況及び新たに生じた課題等
		「岡山大学先端研究講座」を4件、「岡山大学公開講座」を61件開設した。先端研究講座は、本学が推進する先端的な研究の内容や成果を広く周知することを目的に、高度な研究内容を可能な限り分かりやすく紹介する講座として、これまでとは異なる分野・内容で、昨年度より1件多く開設した。これにより、高度な研究内容を扱う講座の増加および新たな内容の講座の開設を通じて、地域の皆さまに、本学の先端の知を身近に体験してもらう機会を提供できた。
④管理運営領域	関連する 中期計画の番号	管理運営領域における目標の達成状況及び新たに生じた課題等
		①令和8年度に向けて、これまでの教育に加えて、国際教育を統合する大規模な組織改革を企画・準備する。 ②女性教員採用割合について、ダイバーシティ推進本部からの「岡山大学の女性教員登用にに関する目標と計画の制定について（通知）」に定められている部局ごと数値目標（分野における政府目標以上）である38%以上を達成できるよう、計画的な採用人事を進める。
⑤センター・機構等業務	関連する 中期計画の番号	センター・機構等業務における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
		①令和6年度に引き続き、本学学生が多く就職している2つの企業の卒業生、人事担当者及び上司に本学の教育等に関する事前アンケート調査を実施し、そのアンケート結果に基づきインタビュー内容を再構築した上で、企業に赴き本学卒業生の社会での評価や求める人材（教育効果）に関する意見等を聴取した。また、卒業・修了生の就職先アンケートと卒業予定者アンケートの比較・集計・分析し、企業及び卒業・修了生インタビューでの資料とした。これらの結果を踏まえ、令和8年度の就職先アンケート実施に向け、改訂版の策定を行っている。 ②新入生アンケート及び新入生に対する「大学入学までの学習経験とこれからの学びに関する調査」を実施し、各部局と共有した。調査・分析から、本学の総合型選抜・学校推薦型選抜が課題意識を持つ志願者を見出す選抜として機能していることが確認できた。上述の調査を継続的に実施することに加え、各部局で学校推薦型選抜・総合型選抜を総括し、教育推進機構へ報告する仕組みを新たに構築し、全学的に選抜を検証し内容改善につなげるPDCAサイクルの枠組みを整えた。また、入学前教育についての部局及び受講者へのヒアリング調査を実施し、高等学校等との教育連携会議にて各部局へフィードバックした。新たにスクーリングを実施する部局もあり、内容の充実が進むとともに、実施部局が昨年度から1部局増加し、7学部1プログラムに拡大した。 ③学士課程教育運営委員会及び各科目部会・科目班の下、次年度に向けた時間割及び科目編成を改善した。特に、初修外国語の一部科目について、当初の「言語文化科目」が掲げる外国文化への理解を深めるという理念に沿うよう、次年度開講の科目内容を再構築した。また、新カリキュラム成果検証に必要な基礎データを収集するため、学部1年次生及び2年次生を対象に、学習状況や学習経験に関する調査を実施し、分析を行った。また、課題探究科目及び英語科目においては、それぞれ学生や担当教員へのアンケート調査を行い、初年度の実施状況を把握・検証し、次年度の開講に向けてFDを実施した。 ④大学院共通科目「リーダーシップとSDGs」「プロジェクト・マネジメント実習」について、学位プログラム化後の最初の修了生である修士・博士前期課程2年次生に対してアンケート調査を実施し、研究科毎の集計も行い、フィードバックした。このアンケート結果も踏まえ、「リーダーシップとSDGs」の単位数見直し等を行った。また、仮称CAAとしていた認定教授補助者について、正式名称をGTAに決定し、ファシリテーション能力に長けている者をGraduate Teaching Associate-Facilitator (GTA-F)として、大学院生が学士課程の初年次教育科目「知の探研」を実践の場として活用し、ファシリテーションを中心とした授業支援活動を行い、指導力、自己省察力及びリーダーシップ能力を高める授業を試行開講した。令和7年度には、実践授業を履修した大学院生4名をGTA-Fと認定し、認定証授与式を実施した。

注1）本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。
注2）自己評価による達成度（5～1）は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。